

# 麻布だより

校長 宮島 淳一 ◇ホームページ <http://azabu-es.minato-tky.ed.jp/> 港区立麻布小学校  
東京都港区麻布台 1-5-15 TEL 03(3583)0014 FAX 03(3583)7223

## 全国大会の授業公開において授業改善に取り組んでいます ～ 「令和の日本型教育」とは ～

校長 宮島 淳一

10月25日(金)に第50回全日本教育工学研究協議会(JAET)全国大会東京都港区大会にて、授業公開をします。大会テーマは「Next GIGA～創造性を育むICTを活用した新しい時代の教育を目指して～」です。ここで目指す「新しい時代の教育」とは何でしょうか。文科省の諮問機関である中央教育審議会の答申では、これから求められる教育を「令和の日本型教育」として、「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的に充実させることを目指す」と述べられています。しかし、これまでの授業でも、一人一人に寄り添い「個別最適な学び」をさせようと教員は努力してきましたし、ペア学習や話し合い活動を積極的に取り入れて「協働的な学び」にして学習意欲を育てようとしてきたはずですが、これまでと、何が違うのでしょうか。

\*\*\*\*\*

1つ目のキーワードは、「個別」と「協働」両者の学びを「一体的に充実させること」です。一人一人の児童は、「個別最適な学習」を目指そうとする際、自分なりに問題を捉え解決する過程で見方・考え方を成長させて、さらに解決した問題を発展させて学習できる力を付けていきます。しかし、学習の途中で、1人では解決できない問題が出てきたり、問題を発展させることが困難な場面が出てきたりします。また、問題を解決できたとしても、解法に自信がなかったり、見方・考え方を働かせることができなかったりする児童もいます。そういったとき、いつでも周りの人と関われる学習環境があれば、1人では考えられなかったこと、気付かなかったことに触れることができ、「孤立した学び」になることを避けることができます。そこで「協働的な学び」が発動します。友達と考えを共有したり、吟味したりすることを通して自分自身の中で対話が生まれます。「よし、同じだ。これでいいんだ」(確信)「そうそう、そうなんだよ」(共感)「あれっ、なんか違うな。なぜだ？」(吟味)「ということは、こういうことか」(再構築)「もしかしたら、こうかもしれない」(推理)「だったら、こうしたらどうかな」(創意)…。これらの相手との対話、個人内の対話を通して、新たな自分の考えをつくり出し、さらなる成長を目指します。「個別最適な学び」から「協働的な学び」への流れは、一方通行ではなく、一人一人の学びの進度と必要性に応じて行ったり来たりすることが理想なのです。

例えば国語の学習において、自分が読んだ本を人に薦める「本の紹介シート」を作る学習であれば、自分にあった本を選んだり、自分のペースで紹介シートを作成し推敲したりするのは

個別に学習を進めることができます。どんな言葉を選べばその本の良さが伝わるか、自分はどこが良いと思ったのかをきちんと言語化することは、個の学びを深めます。そこで終わるのではなく、それを児童同士で交流することにより、協働的な学びとなっていきます。他者である友達の学びを知ることで、相対的に自分の学びも深まっていくでしょう。また、理科の学習であれば、例えば、植物の発芽の条件を調べる実験であれば、自らの経験や知っていることなどを元にして予想を立てることで、個の学びを深めます。そして、その予想を児童同士で共有したり、実験の条件制御について検討したりすることにより、協働的な学びとなっていきます。

2つ目のキーワードは、「ICTの利活用」です。「協働的な学び」を進める上で、友達の考えを知ったり参照したりするときに、ICTの使用により時間的・空間的効率性が格段に高まりました。そして容易になりました。ICTでの表現により、全員の考えをいっぺんに見ることができるようになったのです。また、自分の机に居ながらにして、多人数での共同編集も可能になりました。授業の中でICTを学習道具として利活用できる力を育成しています。

最後に3つ目のキーワードは、児童の「主体性」＝「問題を自分ごととする」です。問題を自分ごととできない児童は、いつもだれかの解法を鵜呑みにするだけ、だれかに与えられた問題を解くだけの受け身の学習者になってしまいます。問題を自分ごととして捉え主体的に取り組む児童を育成していく上で、どのような問題や課題に取り組んで、個別最適でかつ協働的な学びにつなげさせるかを見極めなければなりません。指導者側の課題でもあります。授業において、どのような「問い」をもたせるかの吟味についてです。

\*\*\*\*\*

以上、まだまだ発展途上ではありますが、当日の授業では、「問い」を自分ごととして主体的に探究し、「問い」を解決する過程で必要に応じてICTを用いて表現し、協働的な学びをして解決しよう活動する児童の姿をお見せしたいと思います。

※発表案内 <https://smartconf.jp/content/jaet2024/>

## ■ 特別支援教室の通室及び学習支援員の配置(令和7年度1学期)の申込みについて

発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通室指導を行う特別支援教室(わくわくルーム)を開室しています。また、通常の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別に支援を行う学習支援員を配置しているところです。現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通室あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は10月15日(火)までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長にご相談ください。

# 10月行事予定

日	曜	行事	
1	火	都民の日	
2	水	出	
3	木	C時程 港区連合運動会(6年)	奥
4	金	音 歯科検診(1・2・5年) 委員会活動(写真撮影)	久
5	土	東麻布かかし祭(3年子ども商店)	
6	日		
7	月	C時程	田
8	火	午前授業	
9	水	読み聞かせボランティア	
10	木	C時程 安全指導日 遠足(3年)	奥
11	金	児 運動委員会集会 歯科検診(3・4・6年)	久
12	土		
13	日		
14	月		
15	火	図書委員会集会 たてわり班活動	
16	水	出 B時程	
17	木	C時程 5時間授業	奥
18	金	運 下水道キャラバン(4年) 鼓笛発表会 (児童向け) クラブ活動(写真撮影)	久
19	土	学校公開① 防災訓練 新1年生学校説明会 鼓笛発表会(5・6年生保護者向け)	
20	日		
21	月	全 C時程 学校公開日② 出前授業(2年)	田
22	火	遠足予備日(3年)	
23	水	避難訓練	
24	木	C時程 午前授業	奥
25	金	JAET 全国大会 午前授業 給食なし	久
26	土		
27	日	遊び場開放(12:00~15:00)	
28	月	全 C時程 読書月間(~11月8日まで)	田
29	火		
30	水	B時程 午前授業 就学時検診	
31	木	C時程 フラワーポット(3年)	奥

10月の生活目標  
「じょうぶなからだを作ろう」

スクールカウンセラー出勤日  
久...久我 田...田村  
スクールソーシャルワーカー出勤日  
奥...奥山



## ■ JAET 全国大会(10/25)について

大会当日は、全国から教育関係者が集まり授業を参観します。学級によって、下校時刻が異なりますので、ご確認ください。

◆登校 8:10~8:20 全学級

◆1校時 8:40~9:25 全学級<公開なし>

1年2組、1年3組、2年2組、2年3組  
3年2組、4年1組、4年3組、5年2組

下校 9:25~9:35

◆2校時 9:45~10:30 <授業公開>

1年1組、2年1組、3年1組、4年2組  
5年1組、6年1組、6年2組

下校 10:30~10:45

## ■ 鼓笛発表会について

鼓笛発表会を10月19日(土)に行います。全校児童には前日18日(金)に披露します。今年度で48代目となる麻布小鼓笛隊。5,6年児童の堂々たるパフォーマンスに盛大なる声援をお願いいたします。

【日時】10月19日(土) 9:30~

【場所】校庭(雨天延期)

## ■ 地域防災訓練(麻布小避難所訓練)について

麻布小地区防災協議会の方々に、避難所としての実際の生活の仕方を教えていただき、体験します。居住空間をつくり、トイレ問題を考えます。

【日時】10月19日(土)

低学年 2校時目(10:05~)

高学年 3校時目(11:05~)

【場所】体育館

紺帽子への切り替え  
10月2日(水)から紺色の校帽になります。  
サイズ、ゴムひも等確認をお願いします。

◆凡例 全...全校朝会 運...運動朝会  
児...児童集会 音...音楽朝会  
読...読み聞かせ 出...出張スピーチ